

目次	ダイフクの 価値創造	CSR マネジメント	CSR アクション	ガバナンス	ESG データ集	社外からの 評価	CSR に関する 情報開示に ついて
----	---------------	---------------	--------------	-------	----------	-------------	--------------------------

目次 > CSR アクション > 高品質な製品・サービスの提供

# 高品質な製品・サービスの提供

## 基本的な考え方

1937年の創業以来、ダイフクはモノを動かす"マテリアルハンドリング(マテハン)"に携わってきました。これまで、保管、搬送、仕分け・ピッキングといったマテリアルハンドリング製品をさまざまな分野・市場ごとに開発してきました。

当社を取り巻く事業環境は、世界的なeコマースへの対応など物流関連投資の拡大に加え、自動化・大規模化の傾向にあること、人手不足解消や生産性向上への投資が見込めることなどから、今後も成長が期待できます。お客さまに信頼していただくためには、広く社会に提供する製品・システムの品質向上、関連法規制やガイドラインの遵守による安全性確保、予期せぬトラブルが発生した場合の誠実な対応や再発防止策が最重要であるとの考えから、「最適・最良のソリューションを提供し、世界に広がるお客さまと社会の発展に貢献する」ことを経営理念に掲げています。

## 本テーマのマテリアリティと関連するSDGs目標

### マテリアリティ

- ・世界各地のお客様のニーズを満たす製品・サービス品質の維持向上
- ・技術開発基盤の強化

### CSRアクションプラン KPI・2020年目標

- ・全生産拠点のISO9001認証取得維持
- ・製品・サービスの不具合：2014年度比55%以下
- ・セーフティアセツサ資格取得者数：800名
- ・発明者数：240名

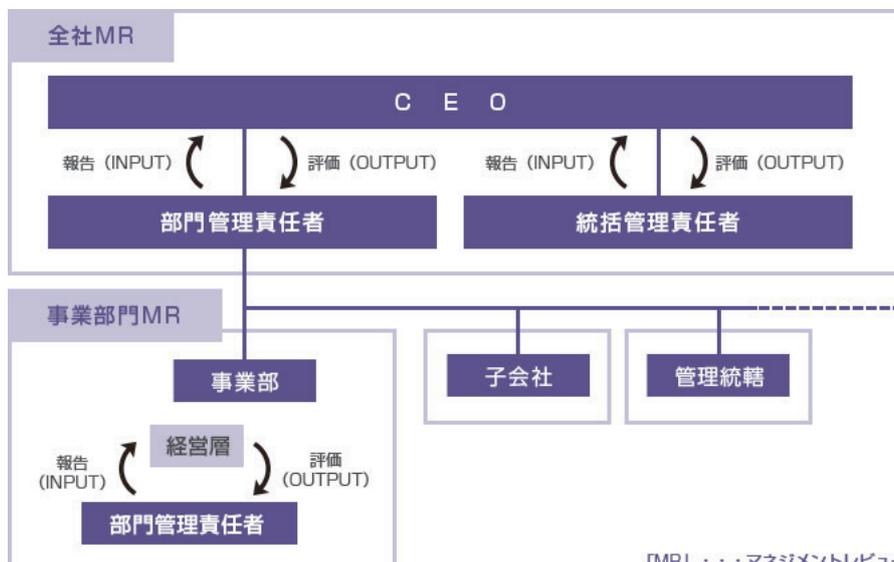


ダイフクが目指すSDGs目標

## 推進体制

ISO(国際標準化機構)が規定するISO9001品質マネジメントシステムに準じ、顧客満足の追求を基本方針として、企画から販売、設計、製造、据付、アフターサービスまで、それぞれの段階で品質を保証しています。

ダイフクの品質マネジメントシステム活動は、各事業部門の目標達成状況や不適合の是正処理等、事業部マネジメントレビュー情報をもとに経営層が品質保証体制の見直しを行います。また、全社マネジメントレビューではCEO(Chief Executive Officer)が品質目標の達成状況等から品質マネジメントシステム変更の必要性を判断・指示し、継続的改善に努めています。



〔MR〕・・・マネジメントレビュー

## 高品質な製品・サービスの取り組み

> **KPI** (Key Performance Indicators) は CSR アクションプランの達成度を判断するための評価指標です。 [PDF](#) (524 KB)

### 品質マネジメントシステム認証取得の状況

KPI

国内外の主要な生産拠点において品質マネジメントシステムの国際規格 ISO9001 の認証を推進しています。国内においては 3 拠点の全てで、海外においては 18 拠点で認証取得した拠点にて生産しています。生産拠点数に占める認証取得比率は 84% です。

認証規格	生産拠点数 (連結)	うち認証拠点数	認証比率
ISO9001	25	21	84%

> 認証取得拠点一覧

### 製品・サービスの不具合 (2014 年度比 原単位)

KPI

2020 年度目標 55% 以下に対して、52% の実績となりました。次年度も目標に向けて更なる改善を継続し、不具合費の削減に努めます。

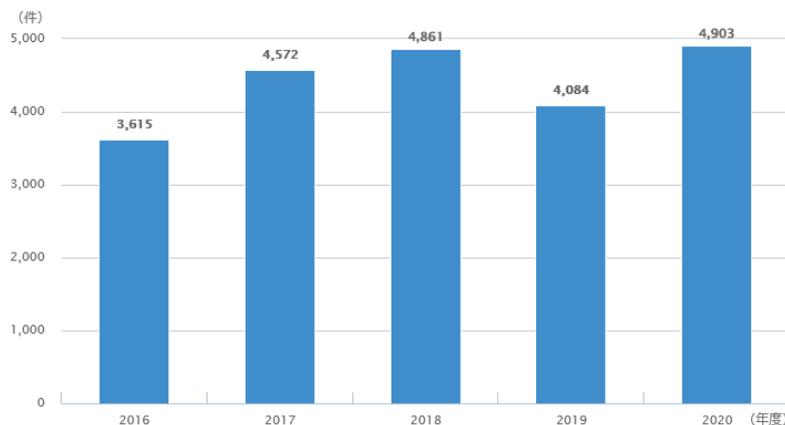
### 小集団・改善提案活動

当社では、小集団・改善提案活動に力を入れ、職場での地道な改善を継続させることで大きな効果を上げています。2020 年度の改善提案では、業務改善・コストダウン・品質・安全・環境などに関する内容が 4,903 件となり、活発な活動を続けています。

#### 小集団活動発表大会

小集団活動のハイライトとして、年 1 回、経営トップが参加して、予選を勝ち抜いたチームによる発表大会を開催しています。2020 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合型の開催は中止しました。代替措置として、ポータルサイト上で発表資料および動画を閲覧できるようにし、情報共有を図りました。

#### 改善提案件数



目次	ダイフクの 価値創造	CSR マネジメント	CSR アクション	ガバナンス	ESG データ集	社外からの 評価	CSR に関する 情報開示に ついて
----	---------------	---------------	--------------	-------	----------	-------------	--------------------------

目次 > CSR アクション > 高品質な製品・サービスの提供

## 創意工夫功労者賞

この賞は、科学技術分野において「作業性の向上」「製品の品質向上」「コスト改善」など、優れた創意工夫によって技術の改善・向上に貢献した勤労者に与えられます。ダイフクグループでは、2005 年から 16 年連続で、累計 43 名が受賞しています。

## 特許取得

当社では、新規開発製品を中心に積極的な特許出願、権利化を図っています。近年はグローバル化が進み、海外出願件数も増加傾向にあります。

### 国（地域）別、特許件数の推移



## 発明者数

KPI

2020 年度目標 240 名に対して、148 名となりました。事業部とのヒアリング、相談会、講習会等の実施により前年（118 名）に比べ発明者数は大幅に増加しました。しかしながら事業部への発明意識付けを浸透させることがまだまだ不十分であったため最終年度においても目標には届きませんでした。2021 年度から新たに社内教育プロジェクトを立ち上げ、引き続き社内講習会の開催を拡充し発明者の増加を図ってまいります。

## 製品安全（社内セーフティアセッサ資格者）

KPI

製品の安全性確保を徹底するため、エンジニアリング部門および設計部門では、社内規程に則り既存機種および新規開発製品についてリスクアセスメントを実施しています。また、社内外のエキスパートによる製品安全の関連教育など、計画的な若手設計者の育成を行い、2020 年度のセーフティアセッサ資格者は 845 名となり、2019 年度より 54 名増えました。労働安全の立場でのリスクアセスメントに役立たせるため、製造現場の担当者の資格取得も推進しています。

\* セーフティアセッサ (SA) : 安全性の妥当性確認に必要とされる基礎知識、能力に加え、安全性の妥当性判断の総合力を有する人  
 セーフティサブアセッサ (SSA) : 安全性の妥当性確認に必要とされる基礎知識、能力を有する人  
 セーフティベリフィケーションアセッサ (SBA) : 機械使用者を対象とした資格。安全パトロールで不十分な安全方策を見つけ、危険な改造を防ぐ

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	
			目標	実績
SA	24	28	800	28
SSA	106	117		109
SBA	504	646		708
合計	634	791		845

## 技術・技能の伝承

2020 年度技能検定試験は、コロナ禍により試験開催は前期溶接検定試験のみとなり、2020 年度の資格保有数より 7 名のみ UP に留まり 2021 年 3 月現在では 548 名が資格を保有しています。2021 年度は感染防止対策を確実にし試験は「千鳥配置」にて、生産に必要な技術・技能の維持向上を目的に、技術技能検定資格制度の運営を行っています。

### 技能検定資格取得者（2021 年 3 月 31 日現在）

	レベル 1（基礎）	レベル 2（中級）	レベル 3（上級）
溶接検定	249 名	52 名	8 名
組立検定	209 名	8 名	22 名